

プロフィール



名前	汾陽 光盛
所属部署	北里大学獣医学部
職種	教授（獣医生理学）
この研究室に入った日	1982. 4. 1.
出身地	鹿児島
趣味	自転車・映画

インタビュー

Q1 出身地は鹿児島ですか。

先祖は鹿児島ですが、住んだことありません。DNAは九州産です。現在の住所に来るまでは東京が一番長かった。今では青森県十和田市が最も長く住んだ場所です（大学院修了以来今まで）。

Q2 研究者（教員）になったきっかけは何ですか？

昔は、二十歳前後の若者はみんな将来に不安を抱いていました（今でも？）。私は特にこじらせていました。その時それまで知らなかった「研究」というものに出会いました。これなら続けられそうかなと思ったのです。当時研究室を訪ねてきたアメリカ帰りの卒業生の方がプロジェクトロンのことを「Pが」というのを聞いてかっけーと思ったのが直接のきっかけです。

Q3 今何をしていますか。

卒論研究生と一緒に仕事をしていて、下垂体にアネキシンA5の発現しているのを発見しました（1991）。他にやっている人がいないので、それからずっとアネキシンA5の研究を続けています。2015年には「日本アネキシン研究会」を立ち上げました。

Q4 アネキシンA5についてそんなにやることあるんですか。

時間かかりすぎてるかも知れないですね。最初は武器を作るところから始めました。組換え体とか抗体とかですね。それから調べていくと下垂体のゴナドトロフに発現していること、GnRHによって発現の促進されることを発見しました。面白いのは、末梢組織でもGnRHがアネキシンA5発現を促進する例を沢山見つけたことですね。

Q5 アネキシンA5についてまだ話すことがありますか。

まだまだあります。アネキシンA5ノックアウトマウスを貰いました。表現型が何も無いということだったので、私は繁殖の専門家ですから、出生数の少ないのを発見しました（学生さんがですがね）。いろいろ調べて、妊娠中に母親のアネキシンA5が胎盤内の不正凝固を防ぐ働きをしていることを突き止めました。ヒトの不育症のモデルになります。

Q6 もう無いですよ。

まだあります。下垂体のアネキシンA5はゴナドトロピン分泌に促進的に関わっていることも明らかにしました。ノックアウトマウスの性周期や排卵は正常なのですが、培養系でゴナドトロピン分泌が低いことを発見しました。アネキシンには12種類のファミリーたんぱく質があります。ノックアウト動物での反応がそれほど無いのは他のアネキシンがあるからかも知れません。それも今調べています。

Q7 下垂体と胎盤とだけですか。

卵巣も私たちの大きな研究対象です。繁殖生物学会で、どういう訳か私は卵巣の専門家に分類されているんですよ。これはもう大分前の仕事なのですが、黄体が退行するとき、局所のGnRHがアネキシンA5産生を介して黄体細胞のアポトーシスを誘導しているらしいことを報告しました。細かいメカニズムはまだ研究中ですが、アネキシンA5は泌乳後乳腺細胞のアポトーシスにも関わっています。

Q8 卵巣はアネキシンA5しかやってないんですか。

いえいえ、他にもやっています。GnRHに興味がありますので、卵巣のキスペプチン（メタスチン）についても調べました。これが顆粒層細胞でだけ作られているんですよ。LHサージに反応して合成量がバーンと増えます。培養顆粒層細胞に阻害薬入れるとプロジェステロン分泌が抑えられます。面白いのは、顆粒層細胞ではニューロキニンBもダイノルフィンも作られているんですよ。KNDyニューロンみたいですよ。これ2015年に報告しました。

Q9 大分長くなりましたね。もう止めませんか。

え、ま、まだあるんですけど。睪臓のGnRHとか腫瘍とアネキシンA5とか。ノックアウトマウスで発見したGnRHに誘導される転写因子は？GnRHとある遺伝子のスプライシングの話も面白いですよ。・・・分かりました。ではまた機会のある時に。

Q10 先輩として若い人に何か言いたいことありますか。

ありません。研究している限り、年齢関係ないですよ。良いものは良い、悪いものは悪い。強いて言えば、人を信用しないように。生身の人間もですが、偉い人の書いた論文もですね。自分で納得できるかどうかが大事ですね。長いことやっていると、結果の解釈も、どうあると自然（nature）かという見方になってきますし、すっとんと腑に落ちるといった感覚が出来てきます。自然の有り様について学んできたのかなと思います。独善じゃいけないのであくまで謙虚にですね。でもSTAP細胞騒ぎの時には、研究室の壁をパステルカラーにしようかと思ったり、まだ迷いも大きいです。

Q11 話し残したことは無いですか。

そりゃありますけど、まあこの辺で。あ、GnRH-アネキシンA5研究について興味のある方、やってみませんか？私に出来ることならお手伝いしますよ。結果の解釈で意見を聞きたいという人も歓迎します。遠いですが、今はSkypeとかありますからね。ボスに内緒でこっそりの場合、秘密守ります。

Q12 そんなあっても無くても良いもの研究して何か良いことありますか。

世界中で沢山の人が研究している大事なものを研究するか、大事になるかどうか未知数だけど自分が一番という研究をするか、どちらが自分で興味を持てるかということかなあ。どちらが良いとは言いませんが、自分は未開の地に行く方が性に合っています。道に迷って死んじゃうかも知れないけどね。

Q13 今気になっていることは何ですか。

私は「日本下垂体研究会」というのにも関わっています。2016年9月にハワイで国際シンポジウムを開催します。繁殖生物学会の皆様も是非ご参加下さい。ホームページはこれから充実させますがURLを記します。

<http://www.iichi.ac.jp/jspr/hawaii/>